

愛媛県蓮乗寺川で採集されたヒラモクズガニ

滝山直人¹・清水孝昭²・山下龍之丞³・山川宇宙⁴

¹ 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋資源環境学専攻

² 愛媛県農林水産研究所水産研究センター

³ 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻

⁴ 筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻



写真1 *Utica borneensis* De Man, 1895
ヒラモクズガニ (TKPM-AR 3535)

種の記録

Varunidae モクズガニ科

Utica borneensis De Man, 1895

ヒラモクズガニ (写真 1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本 (TKPM-AR) 3535, 1♂, 甲長 8.6mm, 甲幅 9.2mm, 蓮乗寺川 (愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城), 2025 年 9 月 23 日, 山川宇宙採集.

種の特徴

検討標本は、頭胸甲がほぼ正方形。背面は隆起線を有し、短い軟毛に覆われ、扁平で滑らか。前側縁には眼窩外歯の後方に明瞭な 2 歯を有する。後側縁には菱形の面をもつ。第 3 顎脚の外肢は内肢の座節よりもわずかに狭く、長節の外側角は突出する。鉗脚は左右同大で、長さは甲幅の約 2/3 に達する。可動指は強く湾曲し、切断面には軟毛の房をもつ。不動指にはわずかに顆粒がある。歩脚は細長く、第 1–3 歩脚の長節前縁の先端部には 1 歯を有し、前後縁には軟毛が列生する。以上の形態学的特徴が、Tweedie (1940) や豊田ほか (2019), 乾ほか (2021) のヒラモクズガニの特徴とよく一致したため、本種に同定された。

備考

本種は、本邦では千葉県および長崎県から琉球列

島にかけて記録されているが (深川・小原, 2014; 豊田ほか, 2019; 乾ほか, 2021), 四国地方における本種の記録は高知県のみであった (山川ほか, 2025)。よって、本稿は愛媛県における本種の初記録となる。なお、著者らは 2025 年 4 月と 2026 年 1 月にも蓮乗寺川で調査を実施したが、本種の標本は得られておらず、同河川では越冬や定着はしていないと考えられる。本研究で得られた標本が 1 個体のみであったことや、九州以北での本種の採集記録が散発的であることも考慮すると (山川ほか, 2025), 黒潮による分散で偶発的に出現した可能性が高い。

引用文献

- 深川元太郎・小原良典. 2014. 長崎県の汽水性カニ類 3 種の記録. 長崎県生物学会誌, (75): 55–57.
- 乾 直人・山川宇宙・碧木健人・是枝伶旺. 2021. 2019 年 9 月以降に相模湾およびその周辺地域から採集された注目すべきカニ類 7 種. 神奈川自然誌資料, (42): 135–141.
- 豊田幸詞・関慎太郎・駒井智幸. 2019. 日本産淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑. 緑書房, 東京. 339pp.
- Tweedie MWF. 1940. New and interesting Malaysian species of *Sesarma* and *Utica* (Crustacea, Brachyura). Bulletin of the Raffles Museum, 16: 88–113.
- 山川宇宙・清水孝昭・山本貴仁・山下龍之丞. 2025. 高知県大岐川で採集されたヒラモクズガニ. 南予生物フィールドノート, 25033.

(2026 年 1 月 13 日受付, 2026 年 1 月 16 日公開)

連絡先: 滝山直人 (e-mail: tkym7hermit@gmail.com)

(Naoto Takiyama, Takaaki Shimizu, Ryunosuke Yamashita and Uchu Yamakawa. 2026. *Utica borneensis* (Varunidae) collected from the Renjoji River, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26003)